



アンケート結果

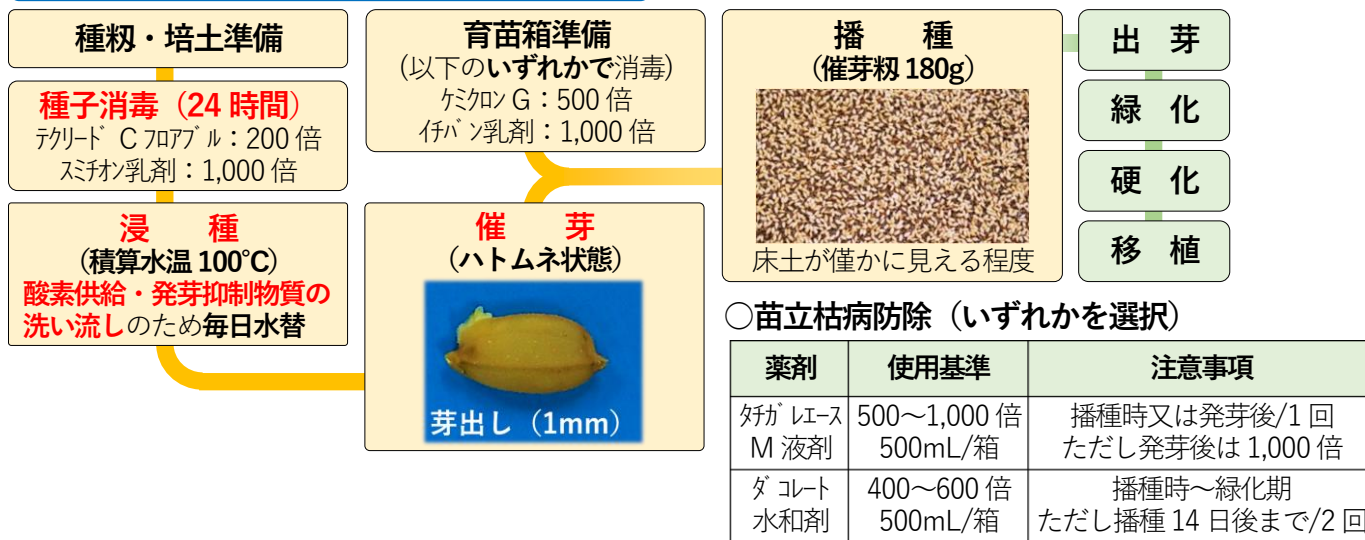
第13回中讃地域おいでまい生産者組合総会（令和7年2月26日開催）で実施したアンケートの結果を報告します。ご協力ありがとうございました。

表 アンケート結果概要（回答数：26名/36名）

平均年齢 74.6 歳		経営 体数	作付面積		単収(/10a)		施肥体系		中干し実施 (過剰分げつ 抑制のため)		
			平均	計	R6 産	理想	基肥一発	基肥+追肥			
個人	栽培面積 1ha 以上	7	604.4a	4,231.0a	450.8kg (7.5 俵)	506.3kg (8.4 俵)	17 経営体	8 経営体	23 経営体 定期的な降雨 により、中干 しが困難なケ ースがあった		
	栽培面積 1ha 未満	11	62.9a	691.6a							
	計	18	273.5a	4,922.6a							
集落営農・株式会社		8	963.4a	7,707.0a	単収差						
全体		26	488.9a	12,107.7a	約 60kg/10a						
① 水稻栽培において意識している要素						1 位：収量 2 位：良食味 3 位：外観品質					
② 実需者・消費者に選ばれるために重要と考える要素						1 位：良食味 2 位：外観品質 3 位：収量					

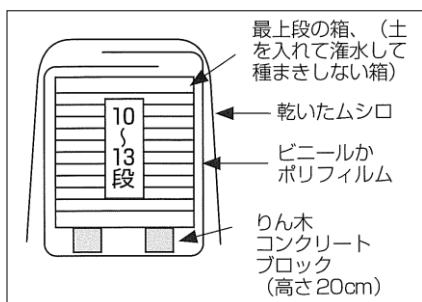
①「収量」「良食味」はほぼ同数（わずかに1票差） ②「収量」が1位
→「おいしい米づくり」が共通認識
理想的な収量・品質・食味の実現のための第一歩は**健苗育成から！**

1. 健苗育成：厚播きを避け適正な播種量を



2. 各出芽方法の注意点

① 積み重ね出芽



- ・ 上下の温度差抑制のため**積み重ねは10段まで**
- ・ 保温のため包み込みは下から
- ・ **出芽ムラ**がある場合は**上下の箱を入替**
(温度差により発生)
- ・ 出芽期・緑化期に**高温にならないよう注意**
- ・ 緑化期以降は苗箱を広げるため**設置場所が必要**

②被覆資材による出芽（緑化を兼ねる）

○シルバーポリトウトンネル



- ・遮光率 90%の資材使用
(設置場所・支柱、設置の手間が必要)
- ・急激な温度変化やヤケ抑制のため
トンネルの高さ、裾・苗箱の隙間を確保
- ・裾をしっかり押さえて密閉状態を保持
- ・外気温の影響を受けやすいため
トンネルの除去は涼しい時間帯に
(高温：苗腐敗病等の病害や高温障害・ヤケ発生
低温：苗の徒長)

○アルミ蒸着フィルム（太陽シート）のベタ掛け



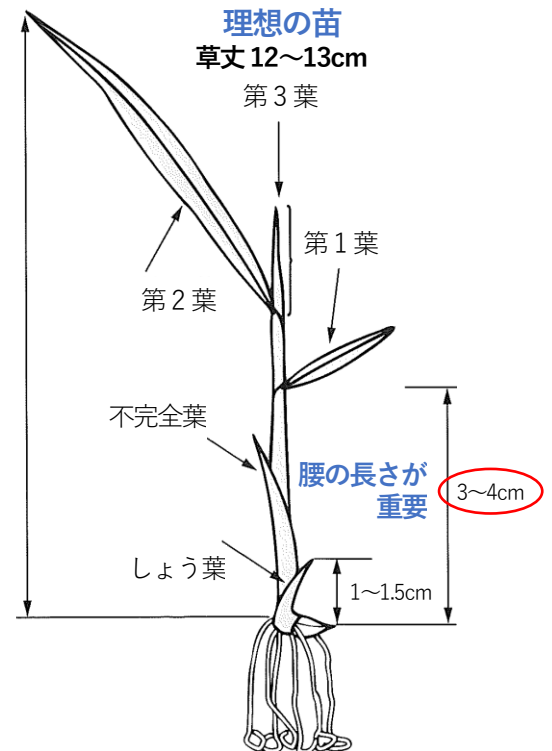
- ・アルミ蒸着面が表側
- ・フィルムが裂けやすい
- ・トンネル設置の手間が不要、設置面積小
- ・雨水対策として勾配を付ける
(中央部分にりん木設置
雨水が溜まった場合は箒やブロワー等で除去)
- ・外気温の影響比較的少なく、出芽・苗立ち安定
(高温時もシート内の温度上昇少、夜温も確保可能)

3. 緑化期～硬化期の水管理

○育苗期間中の管理目安

		出芽期	緑化期	硬化期
温度	昼	30℃まで	20～25℃	15～20℃
	夜	30℃まで	15～20℃	10～15℃
水分		過乾× 過湿×	特に過湿×	過乾× 過湿×
光線		暗黒状態	適度に遮光	自然状態
日数		3日程度 出芽 1～1.5cm	3～5日 草丈 6～7cm	10～15日程度 草丈 12～15cm
灌水		—	原則不要 限度：1回/日	午前中に灌水 1～2回/日

- ・硬化期以降の灌水は
苗の萎れ具合・床土の湿り具合から判断！
- ・午前中に灌水しても乾燥→夕方に再度灌水
- ・苗の生育について
苗箱中央が低い→水のやり過ぎ
苗箱側面が低い→風等による乾燥



マイスターチェック

- 深耕・土壌改良資材施用等、土づくりに努めている！
- 適正な芽出し・出芽～緑化期にかけての温度管理に注意している！